



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思います。
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合ってもらいたいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思います。
よろしくお願いいたします。

★資料名

ドッジボール

★今回の道徳の授業のねらい

正しいと思うことは、自信をもって行おうとする態度を育てます。

★お話のあらすじと内容

子供が好んでするドッジボールを題材にしており、興味を引く教材です。ドッジボールの試合中、いく子の投げたボールが当たった一郎は、「バウンドしたボールだ。」と怒ったように言います。主人公の明は、当たったと言いますが、周りの友達は一郎の味方をします。しかし、いつもはおとなしい登が、その日の帰りの会で、正しい意見を自信をもって述べて、みんなに反省を促すというお話です。

★子どもたちの授業で感じたことやふり返り

- ・正しいと思う自分の意見は、相手が分かってくれるかもしれないから勇気を出して伝えることが大切だと感じました。
- ・正しいと思うことを行うためには、まず、自分の意見をもつことが大切だと学びました。そしてこれからは、勇気を出して伝えたいです。
- ・これからは、どんな人にも、自分の意見をしっかりとって、周りに流されないように伝えたいと思いました。理由は、自分の意見を伝えれば、相手も分かってくれると思ったからです。
- ・正しいことを言うには、流されずに自分の意見をしっかりとつこと、はっきりと言うことが大切だと思いました。
- ・どんなときでも自分の意見をもつことの大切さを学びました。これからは自分の意見をもって周りにまどわされないようにしたいです。
- ・これからは、自分の意見をもって、正しいことをきちんと伝えたいです。理由は、正しいことを伝えないとともやもやが続いてしまうからです。

★家庭で話し合ってもらいたいこと

子どもたちはさまざまな人間関係の中で生活しています。自分自身がよりよく生きていくために、正しいことは正しいこととして主張できる態度を育てる必要があります。

保護者のみなさんのご経験や、お子さんの日頃の行動から、正しいと思ったことは自信をもって行う心の強さについて話し合ってもらいたいと思います。